

パナホーム 本社『つながりのひろば』のご案内

< コンセプト “新たな『つながり』”を築く >



- ① 地球環境を未来へ“つなぐ”
～ 生物が集まる環境創出で地域環境と共存
- ② 事業を未来へ“つなぐ”
～ 再生エネルギー利用と大規模災害時のBCPインフラ確保
- ③ 社会からの信頼を“つなぐ”
～ 帰宅困難者支援と環境貢献活動の具現化

風のひろば
風力発電145W

水のひろば
ビオトープ:150㎡
最大水深30cm

つながりの森

憩いのひろば
防災ベンチ
(収納・トイレ)

太陽のひろば
太陽光発電:11kW
(HIT233×50枚)

絶滅危惧種である千里生まれの
遺伝子を持つメダカを育成。

太陽光発電 + リチウムイオン蓄電池

近畿圏の郷土種を中心に、年間を通じて花を楽しめるようにしています。
(グラウンドカバーを含め約2,500本)

【樹木】



【草花】



樹木情報の見える化 (シーラベル)

- ・樹木の名前を伝えると同時に、樹木が成長と共に1年間に吸収固定するCO₂の量を500㎡ペントポールの容量に換算し、わかりやすく表示。
- ・QRコードを読み取り、専用サイトにアクセスすると、樹木の管理やQ&Aを見ることが出来ます。



当社の災害対策本部使用機器を約12時間使用可能な電力を確保。

※平常時は、ビル1階の照明電力を賄います



発電状況は、受付横のモニターで確認できます。

【ひろば面積】 727㎡
【竣工日】 2013年3月30日

パナホーム 本社『つながりのひろば』について

パナホーム株式会社は、創業50周年を機に

次代に向けて、私たちの事業活動、お客様や地域住民を含む社会からの信頼、そして、地域の生態系を保全しながら地球環境を未来に“つなぐ”象徴として千里本社ビル横に『つながりのひろば』を開設しました。



パナホームは、地域の住民や企業など、様々な関係先と連携・協働しながら、道路だけでなく民有地も含めた「みどりの太い軸線」をつくることを目的とした大阪府「みどりの風の道 形成事業」に参画。『つながりのひろば』は、「みどりの風促進区域」である大阪中央環状線沿いに位置しており、周辺に点在する緑地や水辺を等間隔につないでいます。



また、大規模災害に備え、徒歩帰宅者を支援するため、スペースを有効利用した休憩場所や、LED照明灯等により安全かつ円滑に歩行、誘導できるみちづくりの整備(防災セーフティーロード)を行う、大阪府「防災安全みちづくり事業」に参画。国道423号線:新御堂筋沿いでの協力企業は、パナホームが初めてです。

この『つながりのひろば』は、事業場における手作り緑化を進めることにより、新たな緑地の創造、地域の生物・多様性保全への貢献、自然環境保全の意識高揚、憩いの場づくりを進めるパナソニックグループの「共存の森」活動にも参画しております。

パナホームにおける「共存の森」は、パナホームでは3箇所目の設置となります。

